



ここまでできる 最新CT・MRI検査術シリーズ

第5回 部位別の検査の適応 - 肺・縦隔 -

平成19年11月

今回は、心臓を除く胸部についての CT と MRI について述べていきます。

肺

胸部単純写真で異常を指摘された場合、あるいは臨床上は肺疾患が疑われるが胸部単純写真で異常が明らかではない場合、精査のための画像診断には CT が施行されますが、ほとんどの場合単純 CT で充分です。

しかし、肺腫瘍の肺門部血管浸潤など、病期診断には造影 CT が必要となります。

肺腫瘍に対する MRI についてはまだ研究段階で、一般的に施行されることはほぼありません。

縦隔

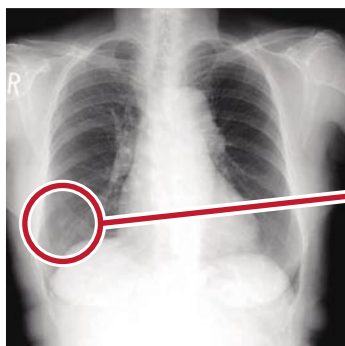
縦隔腫瘍や縦隔リンパ節腫大は単純 CT でも存在診断は可能です。しかし、内部構造についての詳細には造影 CT が必要です。また、縦隔臓器である食道に関しては、食道腫瘍の病期診断に造影 CT が施行されますが、食道腫瘍の有無の検索は無理です。

大血管については、単純 CT では周囲が脂肪や肺で囲まれる部分は外縁が明瞭に描出されます。したがって、嚢状拡張や紡錘状拡張を呈する大動脈瘤は明瞭です。しかし、内腔は造影しないと分かりませんので、動脈壁の厚さや内腔の拡張の程度を知るには造影が必要です。また、動脈解離は造影しなければ診断は困難です。静脈も同様ですので、肺静脈血栓症など静脈内血栓も造影しなければ分かりません。

MR では大動脈の内腔に関しては非造影の MRA でも可能です。ヨード造影剤が使用できない場合には MRA のほうがよいと考えます。しかし、血管壁の石灰化は分かりません。また、検査時間も CT と比較し長くかかります。

☞次頁にサンプル画像を掲載しています。ホームページではカラーでご覧いただけます。

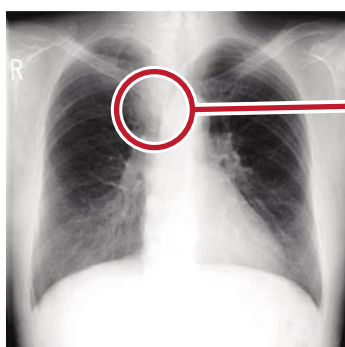
URL: <http://www.city.hiroshima.med.or.jp/hma/center-tayori/center2007.html>



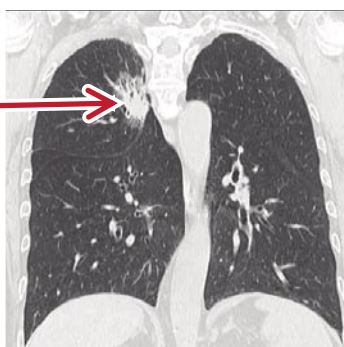
肺腫瘍疑い(胸部 XP)



肺腫瘍疑い(CT 画像)



肺腫瘍疑い(胸部 XP)



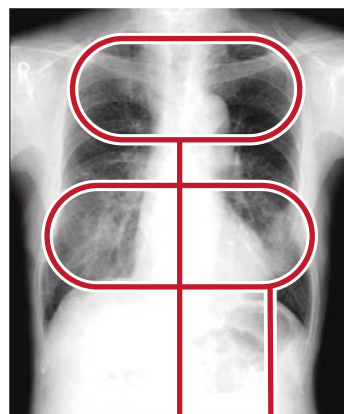
肺腫瘍疑い(CT 画像)



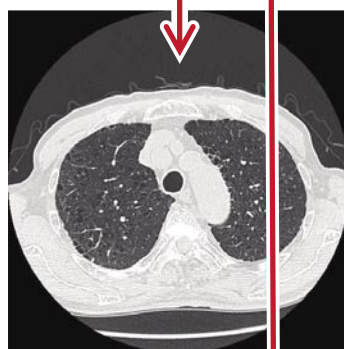
大動脈 3D(CT 画像)



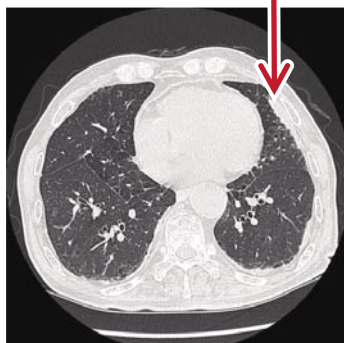
大動脈 SAG(CT 画像)



肺気腫(胸部 XP)



肺気腫性変化(CT 画像)



胸膜肥厚(CT 画像)

お問合せ先

広島原対協健康管理・増進センター ☎082-243-2451(代表) 8:30~17:00

予約受付先

コールセンター ☎0120-14-7191(フリーダイヤル) 8:30~19:30